

Ⅱ 第6次NACCS ACL関連業務における変更点

1-1. 概要 ACL業務とは

- ACLとは**

海上貨物の輸出に際し、海貨業者等がD/R(ドックレシート)※情報をNACCSに登録し、ブッキング先の船会社やNVOCCに通知する業務であり、貨物搬入先CY/CFS等の関係先へも通知することが可能となっています。

また、本業務は、関税法第16条第2項に基づく税関職員に呈示しなければならない積卸についての書類に関する情報の事前登録業務ともなっています(ACLを事前に登録することによって、「船積確認登録(CCL)業務」を契機に必要な書類が出力されます)。

※B/L InstructionやShipping Orderとも言われる、B/Lの元データとなる情報
- ACLの経緯**

ACL業務は平成11年のSea-NACCS更改を機に新設された業務であり、B/L作成のEDI化等に貢献することが期待されていましたが、提供当初は利用率は低い状態にあり期待した効果は得られない状況となっていました。しかし、その後、船会社、海貨業者等の関係者様からの理解・協力を得ることによって、利用率は徐々に向上し、現在では、全国の主要港において平均8割を超える利用率となっており、船積関係書類の電子化に大きく貢献する業務となっています。

また、平成24年3月には、Sea Waybill作成をより容易にすることを目的として、既存のACL01/02業務の改善を行う形で新たにACL03/04業務を追加提供いたしました。
- 第6次NACCSにおける対応**

第6次NACCS更改にあたっては、現行ACL01～04の業務集約を図るとともに、これまで利用者様から寄せられたACL業務に関する機能変更の要望(注)を盛り込んだ形で、新たなACL業務を提供し、更なる利便性向上を図ることとしました。(注)機能変更の要望に対する対応状況については、「参考資料：ACL関連業務プログラム変更対応可否一覧」をご参照ください。

なお、新ACL業務は、既存のACL03/04業務をベースとして開発を行っているため、現在のACL01/02業務とは入力項目や出力項目(帳票)等が大きく異なっており、現在、ACL01/02業務を利用されている利用者様は、更改に向けて十分に変更点を理解いただき、必要な対応を行っていただきますようお願いいたします。

特に自社システムでACL業務の送信や受信を行っている利用者様は、自社システムの改修等が必要となりますので、必要な改修を行った上で、現在実施している「自社システムと第6次NACCSとの接続試験」(本年4月末まで)においてご確認いただきますようお願いいたします。
- ACL手順書の改訂**

ACL業務の利用にあたっては、関係者間における運用(取り決め)を取り纏めた「ACL手順書」を参考資料として提供していますが、第6次NACCS更改を機に、新たな手順書を作成することとしています。現在、関係者様のご協力を得ながら改訂作業を進めていますが、本年7月から始まる総合運転試験前までには、NACCS掲示板に掲載することを予定しています。掲載の際には改めてお知らせいたしますが、内容をご確認の上、総合運転試験等で確認・ご利用ください。

1-2. 概要 ACL業務とは

☑ ACL業務の集約等の概念図

現在提供しているACL01～04業務については、前述のとおりACL03/04をベースとする業務の集約化を行っています。



☑ ACL業務の業務名称の変更

現在提供しているACL業務に関連する業務名については「船積確認・・」等となっていますが、業務が明確となるような業務名への変更要望があったことから、第6次NACCSでは、以下のとおり「ACL」という定着した名称を業務名に利用することいたしました。(注：ACL = Acknowledgement of Cargo Loading)

業務コード	現行 業務名称	第6次NACCS 業務名称
ACL01	船積確認事項登録(コンテナ船用)	ACL情報登録(コンテナ船用)
ACL02	船積確認事項登録(在来船用)	ACL情報登録(在来船・自動車船用)
ACL11	船積確認事項登録呼出し	ACL情報呼出し
ACL12	船積確認事項登録(ハウス単位)呼出し	ACL情報登録(ハウス単位)呼出し
IAL	船積情報照会	ACL情報照会
IAC	船積情報登録状況照会	ACL情報登録状況照会

2-1. 新ACL01/02業務の変更点(概要)

☑ 入力項目、桁数の見直し

新ACLでは、入力項目の追加・削除や桁数の変更等を行っています。詳細は別添の入出力項目表を参照ください。なお、以下には項目の見直しの一つである「荷送人」を例として示しています。特に、同欄で使用する輸出入者コードについて、大きく変更が行われますので、ご注意ください。

例：荷送人等に係る情報

【現行】	*数字は桁数	【第6次】	
荷送人	12	17	
荷送人名	70	70	
住所・電話番号	105	175	
住所 St.1	70	住所 分割入力欄は廃止	
St.2	35		
City	35		
Country-sub	35		
Postcode		Country	

住所、電話番号欄の桁数追加

! 法人番号の入力について

第6次NACCSでは、輸出入者コードとして新たに法人番号の利用を可能といたします。法人番号(体系：法人番号(13桁)+枝番(4桁)=17桁)の入力を可能とするため、現行の12桁から17桁とする桁数の変更を行います。なお、法人番号を入力した場合、当該法人番号がJASTPROコード等と紐づけが行われていれば、荷送人等名称欄の自動補完はされますが、紐づけが行われていない場合は、自動補完されません。その場合、荷送人等名称欄は全て入力が必要となりますので、ご注意ください。紐づけの有無を確認する場合には、「輸出入者情報照会(IIE)」業務をご利用ください。

なお、輸出入者コード欄には、当面は既存のJASTPROコード等の入力も可能となっています。

2-2. 新ACL01/02業務の変更点(概要)

☑ 項目の並び順を見直し、関連項目を集約

新ACLでは、項目の並び順や関連項目の集約を図ることによって、より効率的に分かりやすく入力ができるように見直しを実施します。以下にはその例として本船情報等の変更点を例として示します。

例：本船情報、荷受～荷渡しに係る情報の集約

The image shows a side-by-side comparison of the ACL form interface. The left side represents the '旧ACL01/02' (Old ACL) form, and the right side represents the '新ACL01/02' (New ACL) form. Red boxes and arrows highlight specific changes:

- 旧ACL01/02 (Left):** Fields are scattered across the top and middle sections. For example, '船積予定船名' and '航路番号' are at the top left, while '荷受人' and '荷受人名' are further down. A blue box highlights the '船積予定船名' and '航路番号' fields.
- 新ACL01/02 (Right):** Fields are reorganized into a more logical flow. '船積予定船名' and '航路番号' are now grouped together at the top. '荷受人' and '荷受人名' are also grouped together. A blue box highlights the '船積予定船名' and '航路番号' fields. A blue callout bubble points to the '船積予定船名' and '航路番号' fields, stating: '現行ACL01/02で離れていた関連項目並び順を見直すことで、パッケージソフトに入力する際の利便性を向上します。' (By reorganizing the order of related items separated in the current ACL01/02, the convenience of inputting into the package software is improved.)



2-3. 新ACL01/02業務の変更点(概要)

☑ 出力帳票の標準レイアウトの変更および出力枚数の削減

新ACLでは、出力帳票レイアウトの大幅な見直しを行い、B/Lフォームに近い形に変更するとともに、帳票枚数の削減を実現します。なお、本変更に伴い、出力情報コードが変更されますので、自社システム等で利用している場合には対応が必要となります。(出力情報コードの変更は【参考：出力情報コードの変更】を参照ください。)

【現行】船積確認事項情報(コンテナ船本情報) SAT0490

【第6次】ACL情報(コンテナ船本情報) SAT1401

The image shows a side-by-side comparison of the ACL form interface. The left side represents the '旧ACL01/02' (Old ACL) form, and the right side represents the '新ACL01/02' (New ACL) form. A large blue arrow points from the old form to the new form, indicating the transition. A blue callout bubble points to the 'B/Lフォーム' (B/L Form) section, stating: 'B/Lフォームにより近い帳票に変更' (Change to a form closer to the B/L form). Below this, a list of changes is provided:

- 項目名の英語化 (Englishification of item names)
- 本船情報を中央に集約 (Centralizing ship information)
- 記号番号欄を拡大 (Expanding the alphanumeric code field)
- 2本までのコンテナを1枚目に出力 (Outputting up to 2 containers on the first page)
- 通知先出力 (Output of notification recipients)

The forms show a significant reduction in the number of pages. The old form (SAT049-L-1) has 1/5 pages, while the new form (SAT140-L-1) has 1/3 pages. The layout is more compact and easier to read.



2-4. 新ACL01/02業務の変更点(概要)

例：ACL01 コンテナ船本情報の出力枚数

【現行】船積確認事項情報(コンテナ船本情報) SAT0490

現行NACCSでは標準出力帳票は全 5 ページ
*記号番号に2欄以上入力がある場合は記号番号情報を別情報として出力

【第6次】ACL情報(コンテナ船本情報) SAT1401

第6次NACCSでは標準出力帳票は全 3 ページ
*品名・記号番号に2欄以上入力がある場合は記号番号情報・品名情報を別情報として出力

【参考】出力情報コードの変更

現 行

第6次NACCS

ACL01

船積確認事項登録(コンテナ船用)

ACL01

ACL情報登録(コンテナ船用)

処理区分	出力情報名	出力情報コード
仮登録	船積確認事項情報(コンテナ船本情報) (仮登録)	SAT1790
	船積確認事項情報(記号番号情報) (仮登録)	SAT1800
本登録	船積確認事項情報(コンテナ船本情報)	SAT0490
	船積確認事項情報(記号番号情報)	SAT0500
変更情報	船積確認事項変更情報(コンテナ船本情報)	SAT0530
	船積確認事項変更情報(記号番号情報)	SAT0540
取消情報	船積確認事項取消情報	SAT0570

処理区分	出力情報名	出力情報コード
仮登録	ACL情報(コンテナ船本情報) (仮登録)	SAT1351
	ACL情報(記号番号情報) (仮登録)	SAT1361
	ACL情報(品名情報) (仮登録)	SAT1371
本登録	ACL情報(コンテナ船本情報)	SAT1401
	ACL情報(記号番号情報)	SAT1411
	ACL情報(品名情報)	SAT1421
変更情報	ACL変更情報(コンテナ船本情報)	SAT1451
	ACL変更情報(記号番号情報)	SAT1461
	ACL変更情報(品名情報)	SAT1471
取消情報	ACL取消情報	SAT1501

現行ACL01/02業務では、品名情報(繰返し 10)は本情報に含まれていますが、第6次NACCSでは記号番号情報と同様、品名欄に2欄以上入力があると本情報と別に、ACL情報(品名情報)(SAT1421)を出力します。その場合、本情報の品名の1欄目には“SEE ANOTHER ACL DATA”と出力されます。

現 行

第6次NACCS

ACL02

船積確認事項登録(在来船用)

ACL02

ACL情報登録(在来船・自動車船用)

処理区分	出力情報名	出力情報コード
仮登録	船積確認事項情報(在来船本情報) (仮登録)	SAT1810
	船積確認事項情報(記号番号情報) (仮登録)	SAT1800
	船積確認事項情報(車台番号等情報)(仮登録)	SAT1820
本登録	船積確認事項情報(在来船本情報)	SAT0510
	船積確認事項情報(記号番号情報)	SAT0500
	船積確認事項情報(車台番号等情報)	SAT0520
変更情報	船積確認事項変更情報(在来船本情報)	SAT0550
	船積確認事項変更情報(記号番号情報)	SAT0540
	船積確認事項変更情報(車台番号等情報)	SAT0560
取消情報	船積確認事項取消情報	SAT0570

処理区分	出力情報名	出力情報コード
仮登録	ACL情報(在来船・自動車船本情報) (仮登録)	SAT1381
	ACL情報(記号番号情報) (仮登録)	SAT1361
	ACL情報(品名情報) (仮登録)	SAT1371
	ACL情報(車台番号等情報) (仮登録)	SAT1391
本登録	ACL情報(在来船・自動車船本情報)	SAT1431
	ACL情報(記号番号情報)	SAT1411
	ACL情報(品名情報)	SAT1421
	ACL情報(車台番号等情報)	SAT1441
変更情報	ACL変更情報(在来船・自動車船本情報)	SAT1481
	ACL変更情報(記号番号情報)	SAT1461
	ACL変更情報(品名情報)	SAT1471
	ACL変更情報(車台番号等情報)	SAT1491
取消情報	ACL取消情報	SAT1501

現行ACL01/02業務では、品名情報(繰返し 10)は本情報に含まれていますが、第6次NACCSでは記号番号情報と同様、品名欄に2欄以上入力があると本情報と別に、ACL情報(品名情報)(SAT1421)を出力します。その場合、本情報の品名の1欄目には“SEE ANOTHER ACL DATA”と出力されます。



2-5. 新ACL01/02業務の変更点(概要)

☑ チェック機能の追加

新ACL01では、新たに従量・容積の一致チェックを下記のとおり追加します。具体的には、共通部の合計グロス重量/容積と、繰返部(CLP)の各コンテナのグロス重量/容積の合計を比較しシステム上で不一致判定を行います。不一致となった場合、送信時に注意喚起を出力する変更を行います。

【共通部】

【繰返部】



3-1. 新ACL01/02業務の変更点(詳細)

コンテナ船への輸出貨物の船積みの際に、船荷証券(B/L)等の作成に必要な情報をブッキング番号単位に登録及び通知を行います。

【共通部】

*ACL01の画面を使用しています

- マスター-B/L番号**
予めマスター-B/L番号を把握している場合に入力。(新規追加)
- 通知先 CY・CFS / 1 / 2 / 3 / 4** (項目追加)
通知先を含め、通知機能を持つ欄は以下の通り
・船会社(NVOCC) : NACCS用船会社コード(4桁)
・通知先CY・CFS : 保税地域コード(5桁)(ACL01のみ)
・通知先1~3 : 利用者コード(5桁)
・通知先4 : 利用者コード(5桁) (ACL02のみ)
- 担当者名・担当者電話番号** (新規追加)
入力内容の確認時等、受信者である船会社や船舶代理店から送信(登録)者連絡を取る際の担当者名・電話番号を入力
- FREIGHT AS ARRANGED (現行「運賃協定払い」)**
名称変更。B/L、Way Bill上に“AS ARRANGED”の記載を希望する場合「1」を入力 (名称変更)
- 法人番号対応による桁追加
法人番号(13桁)+枝番(4桁)
住所・電話番号欄の桁数追加
- 分割入力欄は廃止
*着荷通知先 3欄 → 2欄
- 荷受形態名・荷渡形態名** (新規追加)
荷受/荷渡形態コードに「OT:上記以外の場合」を選択した場合に具体的な形態名称を入力(ACL01のみ)



3-2. 新ACL01/02業務の変更点(詳細)

【共通部】 (2)

- 統計品目番号 (現行「統計品目番号」)**
・統計品目番号(1欄) → 統計品目・代表番号 (名称変更) 4桁 → 6桁 (桁数変更)
・統計品目番号(品名ごと) (新規追加)
- * 6桁に拡大しますが、従来どおり4桁入力も可能
- AMS内個数(繰返し)**
内個数(AMS)・レベル(AMS)・荷姿コード(AMS)・荷姿名(AMS)
5欄 → 10欄 (繰返し変更)
- 記事** (桁数変更)
280桁 → 350桁



3-3. 新ACL01/02業務の変更点(詳細)

【共通部】③・④

! 第6次NACCSでは、輸出管理番号の入力が任意になります。

輸出管理番号

- ・ 貨物情報D Bのチェックを行う場合
⇒ 「輸出管理番号」を入力
- ・ 貨物情報D Bのチェックを行わない場合
⇒ 「△(スペース)」を入力
* 「X」を入力するとエラーになります。なお、ACL11業務で呼出しを行った場合は、輸出管理番号が補完される場合がありますのでご注意ください。

【参考】 現行は以下いずれかの入力が必要

- ・ 貨物情報D Bのチェックを行う場合
⇒ 「輸出管理番号」または「(ハウス用)ブッキング番号」
- ・ 貨物情報D Bのチェックを行わない場合
⇒ 「X」

NVOCCコード (現行「NVOCC・混載コード」)

(名称変更)



3-4. 新ACL01/02業務の変更点(詳細)

【共通部】⑤

記号番号

(桁数・繰返数変更)

次期 各700桁(35桁 × 20行) 18欄

【参考】 現行 各140桁(35桁 × 4行) 90欄

全体の桁数は変更しませんが、入力が容易となるように、欄ごとの桁数とパッケージソフトの配置を見直します。



3-5. 新ACL01/02業務の変更点(詳細)

【線返部】コンテナ情報(ACL01)

001 コンテナ番号 NACU1234567
 シール番号 1 T812345 2 3 4
 個数 600 荷姿 PK
 グロス重量 8151.20 - KGM グロス容積 18.05 - MTQ
 コンテナサイズ 22 コンテナタイプ GP コンテナ自重 2220 - KGM 設定温度

002 コンテナ番号 NACU2345678
 シール番号 1 T823456 2 3 4
 個数 500 荷姿 PK
 グロス重量 7958.35 - KGM グロス容積 17.50 - MTQ
 コンテナサイズ コンテナタイプ コンテナ自重 2240 - KGM 設定温度

- コンテナ情報 (繰返数変更)
100コンテナ → 200コンテナ
- シール番号 (繰返数変更)
欄数 3 → 4

【線返部】車台番号等情報(ACL02)

車台番号	エンジン番号	車台番号	エンジン番号
001 JDXY123456789	JKX23456789	002 JDXY234567890	JKX34567890
003 JDXY345678901	JKX45678901	004	
005		006	
007		008	
009		010	
011		012	
013		014	
015		016	
017		018	
019		020	
021		022	
023		024	
025		026	

- 車台番号・エンジン番号 (繰返数変更)
150台 → 400台



4. ACL11(ACL情報登録呼出し)業務の変更点

ACL情報の送行者(海貨業者等)は登録業務(ACL01、ACL02)に先立ち、NACCSに登録されている貨物情報、コンテナ情報、船積指図書(S/I)情報、ACL情報から必要な情報を呼び出すことができます。特に、船積指図書(S/I)情報(SIR)については、SIR業務の項目をACLの項目に極力合わせる見直しを行っており、同情報を有効に流用することを可能としています。

船会社 [SARA]
 ブッキング番号 [T8123456789]
 N-S/I番号
 輸出管理番号
 1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49

【呼出し業務識別】
 「N-S/I番号」または「輸出管理番号」から
 呼び出す場合に入力
 △：ACL01業務用に情報を編集する場合
 Y：ACL02業務用に情報を編集する場合

- ◆ 登録済または仮登録済のACL情報を呼び出す場合
 ・ 船会社
 ・ ブッキング番号(+枝番) を入力
- ◆ SIR業務で登録されたNACCS S/I情報を呼び出す場合
 ・ N-S/I番号
 ・ 呼出し業務識別 を入力
- ◆ 貨物情報・コンテナ情報から呼び出す場合
 ・ 輸出管理番号
 ・ 呼出し業務識別を入力

ACL情報登録 (コンテナ船用) 呼出情報 SAT1511	ACL情報登録 (在来船・自動車船用) 呼出情報 SAT1521
--	---



5. IAL(ACL情報照会)業務の変更点

ACL01/02業務にて登録された内容を、ブッキング番号単位に照会することができます。

【入力画面】

ACL11と同様入力画面の簡素化を図ります。

会社名*
 ブッキング番号*

ACL01/02における項目変更等に伴い、照会結果画面に以下の項目を追加します。

- ①【更新日時】【処理区分】【更新利用者】【会社名】
最大5件までの更新履歴欄を設け、処理区分〔8:仮登録、9:登録、5:訂正、1:取消し〕や更新した利用者の確認が可能になります。
- ②【通知先 CY・CFS / 1 / 2 / 3 / 4】*
ACL情報の通知先の確認が可能になります。
*通知先 CY・CFSはACL01のみ。通知先4はACL02のみ。

【出力画面】 ACL照会情報(コンテナ船用) (SAT1541)

船会社 [SARA] ブッキング番号 [178123456789] 送信総件数 取消識別

更新日時: 2016/1/22 16:08 処理区分: 9 更新利用者: 1A00X 会社名: KAIKA

通知先 ②: CY・CFS / 1 2 3 4

荷送人: NACCS CORPORATION
 住所・電話番号: 1-1-1 300000 MINATO-KU TOKYO JAPAN TEL:03-652-219-3787 FAX:03-652-219-3770

荷受人: NACCS VIETNAM COMPANY
 住所・電話番号: 4 808 300000 VIETNAM TEL:84 9 30000000 FAX:84 9 30000000

積載予定船舶: DSUAB - STAR CARRIER 船番: 1705V
 発地: JPTYO - TOKYO, JAPAN 荷送形態: 51
 積出港: JPTYO - TOKYO, JAPAN
 船卸港: VNSGN - HO CHI MINH CATLAI
 荷渡地: VNSGN - HO CHI MINH CATLAI 荷渡形態: 51
 最終仕向け地:



6. ACLカスタマイズについて

NACCS 掲示板

ACL

カスタマイズ帳票サンプル

カスタマイズ帳票サンプルの使い方(1.46MBytes)

カスタマイズ帳票サンプル(807KBytes)

1011 コンテナ船-BL様式 (272KBytes)	2011 在来船-BL様式 (218KBytes)
1011 コンテナ船-BL様式-折返し (262KBytes)	2011 在来船-BL様式-折返し (219KBytes)
1012 コンテナ船-BL様式-輸出管理番号無 (275KBytes)	2012 在来船-BL様式-輸出管理番号無 (149KBytes)
1012 コンテナ船-BL様式-輸出管理番号無-折返し (272KBytes)	2012 在来船-BL様式-輸出管理番号無-折返し (149KBytes)
1013 コンテナ船-BL様式-NP欄1のみ (264KBytes)	2013 在来船-BL様式-NP欄1のみ (折返し) (211KBytes)
1013 コンテナ船-BL様式-NP欄1のみ-折返し (264KBytes)	2013 在来船-BL様式-NP欄1のみ-折返し (211KBytes)
1014 コンテナ船-BL様式-NP欄3のみ (273KBytes)	2014 在来船-BL様式-NP欄3のみ (201KBytes)
1014 コンテナ船-BL様式-NP欄3のみ-折返し (286KBytes)	2014 在来船-BL様式-NP欄3のみ-折返し (201KBytes)
1021 コンテナ船-帳票様式-1目録 (252KBytes)	2021 在来船-帳票様式-1目録 (213KBytes)
1022 コンテナ船-帳票様式-2目録 (259KBytes)	2022 在来船-帳票様式-2目録 (192KBytes)

注) ◎は、ダウンロードファイルのデフォルト設定を示します。

NACCS掲示板のACL情報ページにて提供している「ACLカスタマイズ」については機能改善を行ったうえで、第6次NACCS用を新たに提供いたします。

また、新ACL01/ACL02に基づいたサンプル帳票を提供予定です。

なお、新カスタマイズ機能は、新たに提供する第6次NACCS用掲示板において、ご案内いたします。

現行のサンプル例：1011 コンテナ船 B/L 様式

1011 コンテナ船 B/L 様式

船名: KAIKA

船種: 1011

船主: NACCS CORPORATION

船主住所: 1-1-1 300000 MINATO-KU TOKYO JAPAN

船主電話: 03-652-219-3787

船主FAX: 03-652-219-3770

船主Eメール: kaisa@naccs.co.jp

船主Web: www.naccs.co.jp

船主HP: www.naccs.co.jp

船主SNS: www.naccs.co.jp

船主Twitter: www.naccs.co.jp

船主Facebook: www.naccs.co.jp

船主LinkedIn: www.naccs.co.jp

船主YouTube: www.naccs.co.jp

船主Instagram: www.naccs.co.jp

船主TikTok: www.naccs.co.jp

船主Snapchat: www.naccs.co.jp

船主Pinterest: www.naccs.co.jp

船主Dribbble: www.naccs.co.jp

船主Behance: www.naccs.co.jp

船主SoundCloud: www.naccs.co.jp

船主Bandcamp: www.naccs.co.jp

船主Deezer: www.naccs.co.jp

船主Spotify: www.naccs.co.jp

船主Apple Music: www.naccs.co.jp

船主Amazon Music: www.naccs.co.jp

船主Google Play Music: www.naccs.co.jp

船主YouTube Music: www.naccs.co.jp

船主Tidal: www.naccs.co.jp

船主Pandora: www.naccs.co.jp

船主iHeartRadio: www.naccs.co.jp

船主Deezer: www.naccs.co.jp

船主Spotify: www.naccs.co.jp

船主Apple Music: www.naccs.co.jp

船主Amazon Music: www.naccs.co.jp

船主Google Play Music: www.naccs.co.jp

船主YouTube Music: www.naccs.co.jp

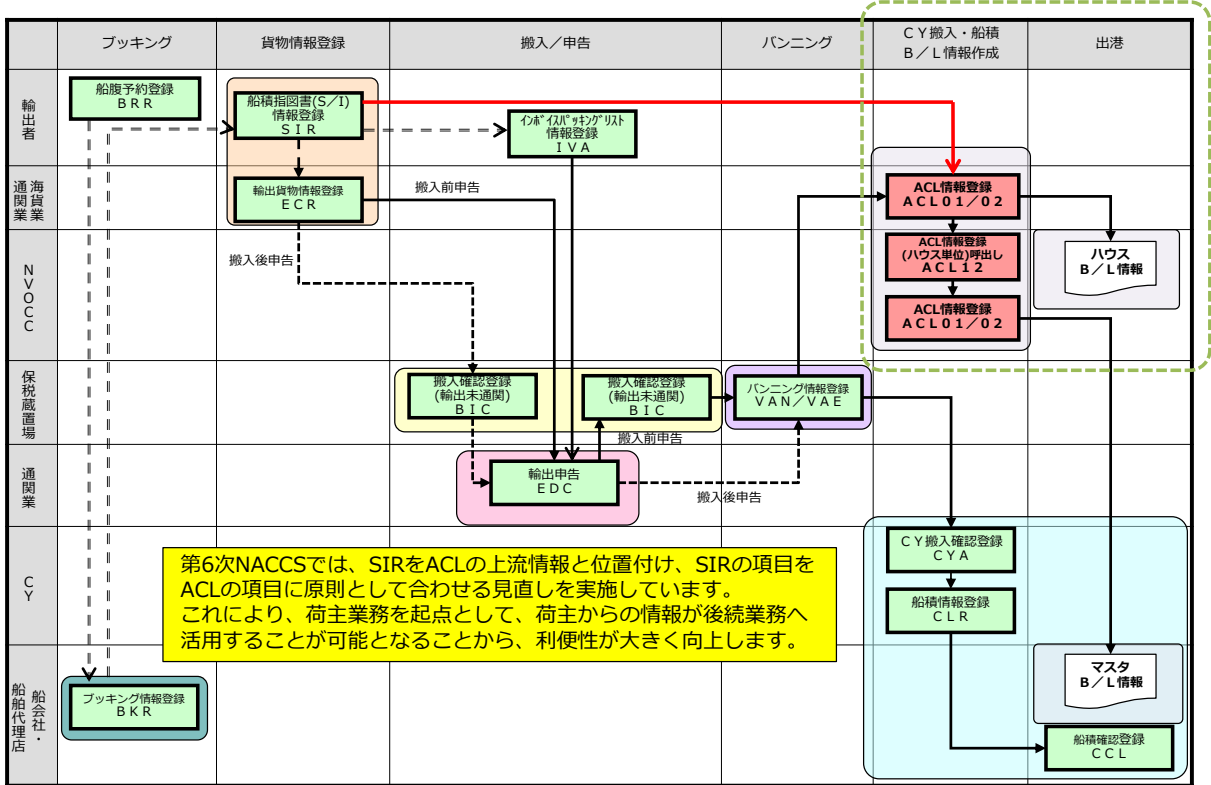
船主Tidal: www.naccs.co.jp

船主Pandora: www.naccs.co.jp

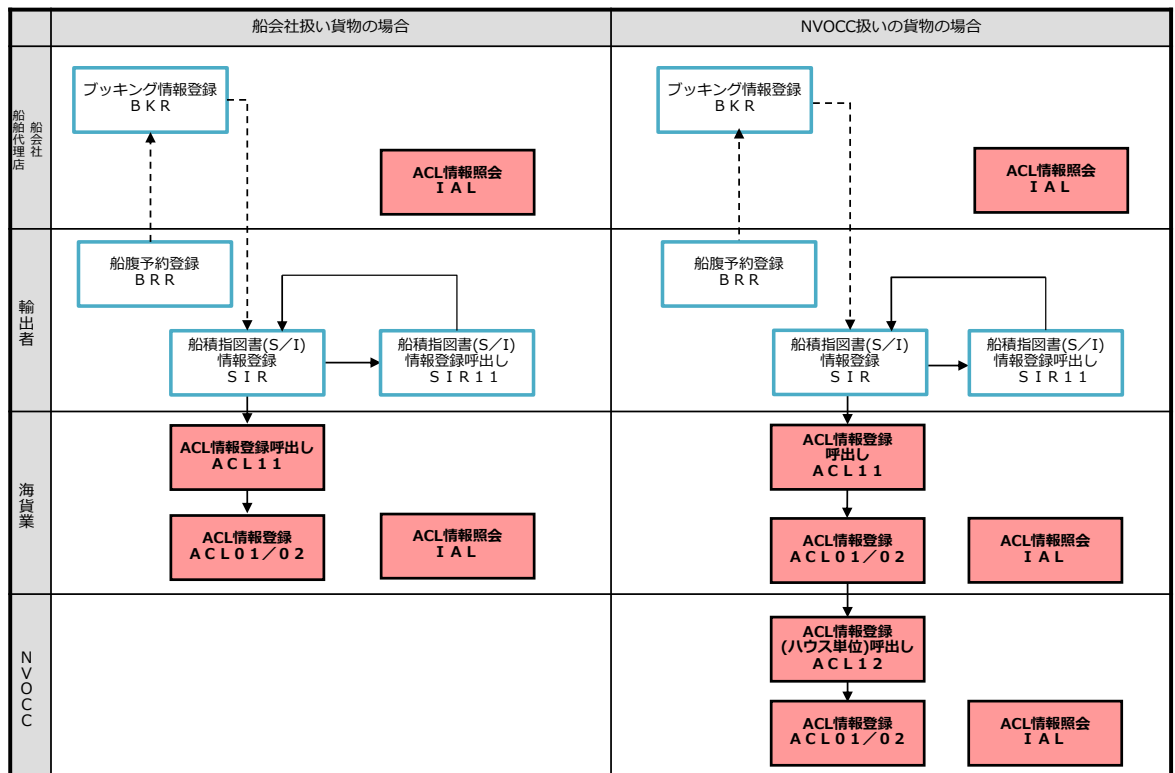
船主iHeartRadio: www.naccs.co.jp



7-1. ACL業務に関連する輸出業務フロー



7-2. ACL業務に関連する輸出業務フロー(詳細)



8. 第6次NACCSの情報について(業務仕様書)

URL <http://www.naccscenter.com/dai6ji/>

The screenshot shows the NACCS website interface. On the left sidebar, the link '第6次NACCS情報' is highlighted with a blue dashed box. A blue arrow points from this link to the right-hand page. The right-hand page displays the '第6次NACCS業務仕様書(確定版)' section, which includes a list of documents and their release dates. A red dashed box highlights the '第6次NACCS業務仕様書(確定版)' link, with a note indicating that the current version is the final one and that any future changes will be highlighted in light blue.

第6次NACCSの業務仕様書についてはNACCS掲示板に掲載されております。
 なお、新ACLの運用に係る情報については、新たに提供する第6次NACCS掲示板に掲載する予定です(5月頃を予定)。

- ・次期(第6次)NACCS利用申込等説明会(平成28年10~12月)資料
- ・次期(第6次)NACCS詳細仕様等説明会(平成28年4月~6月)資料
- ・次期(第6次)NACCS詳細仕様(中間報告)説明会(平成27年6月~7月)資料
- ・航空・海上更改専門部会
- ・航空輸出入通関・航空物流等WG
- ・海上輸出入通関・海上物流等WG

◆第6次NACCS業務仕様書(確定版)

- ・第6次NACCS業務仕様書(確定版)
- ※本業務仕様書は確定版となります。
- 平成28年4月以降、内容が変更となった場合は、変更後の仕様書(変更箇所は水色)及び変更履歴を掲載してお知らせします。
- ・業務仕様書変更一覧(業務一覧)(813KBBytes)
- ・業務仕様書変更一覧(管理資料一覧)(160KBBytes)
- ・第6次NACCS業務仕様書に関するお問い合わせ

◆第6次NACCS EDI仕様書(確定版)

- ・第6次NACCS EDI仕様書(確定版)
- ※本EDI仕様書は確定版となります。
- 平成28年4月以降、内容が変更となった場合は、変更後の仕様書(変更箇所は水色)及び変更履歴を掲載してお知らせします。
- ・第6次NACCS EDI仕様書に関するお問い合わせ

9. 問い合わせ先

本資料に係るご質問等は、お手数ですがE-mailで以下の宛先までお問い合わせください。
 件名の先頭に【ACL】とご記入ください。

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社(NACCSセンター)
 システム企画部 システム企画第1課

E-mail : jiki-setsumeikai@naccs.jp

memo

参考資料. ACL関連業務プログラム変更対応可否一覧(1)

業務コード	変更要望内容	検討状況	実施可否	
1	ACL01	バンニング情報の登録の際に入力している項目(バンニング個数、荷姿、重量、容積)についても同様に補充してほしい。	ACL11では輸出管理番号から貨物情報の呼出しを可能としているが、1つのコンテナに複数の輸出管理番号がリンクされているケースがあることから対応困難。	×
2	ACL01	船会社が発行するMaster B/L No.を記載出来る欄を増やしてほしい。AMS及び10+2でブックイング時に船会社から発行されたMaster B/LがどのS/Iに合致するのか確認したい。	Master B/Lの入力欄を追加。	○
3	ACL01	着荷通知先住所電話番号・荷受人住所電話番号の欄は105桁であるため、50桁増やしてほしい。	荷送人、荷受人、着荷通知先の住所・電話番号欄について70桁を追加し175桁とする。	○
4	ACL01	荷姿コード“PP”の明細が「PALLET & PACKAGE」と表示されるため、「PALLET」と表示してほしい。	荷姿コードは他業務でも参照するコードとなっており、本業務のみの変更はできない。	×
5	ACL01	SHIPPER, CONSIGNEE, NOTIFYの名前、住所が分かれるため、当該欄についてまとめて出力するようにしてほしい。	米国AMS等、海外向けマニフェスト情報において名称欄と住所欄を分けて求められるケースがあることから分割での提示とする。	×
6	ACL01	「運賃協定払い」欄等項目が無い所に表示されるものがあるため、項目を出力してほしい。	要望元にて対応不要との確認済。	×
7	ACL01	個数・グロス重量・容積が2ヶ所あるので1ヶ所にしてほしい。	要望元にて対応不要との確認済。	×
8	ACL01	ケースマークについて、5行目で改頁するため、15行目まで増やしてほしい。	記号番号欄を20行に拡大。	○
9	ACL01	共通部2のグロス重量について桁数を13桁にしてほしい。	桁数拡大は影響大のため実施しない。	×
10	ACL01	BOOKING番号を複数欄設けてほしい。	ブックイング番号単位に処理する仕組みを提供していることから、複数のブックイング番号欄を設けることは困難。	×
11	ACL01	シール番号欄を4欄にしてほしい。	シール番号欄を1欄追加し4欄に変更。	○
12	ACL01	MARKの幅を増やしてほしい。	桁数についてはEDIFACT電文上の制限もあることから、35桁とし、行数を増やすことで記号番号欄の拡大に対応する。	×
13	ACL01	内個数を10個くらいに増やしてほしい。	内個数の入力欄を追加し10欄に拡大。	○

参考資料. ACL関連業務プログラム変更対応可否一覧(2)

業務コード	変更要望内容	検討状況	実施可否	
14	ACL01	SHIPPER, CONSIGNEE, NOTIFY PARTY欄についてスペースを増やしてほしい。	荷送人、荷受人、着荷通知先の住所・電話番号欄について70桁を追加し175桁とする。	○
15	ACL01	項目内で改行を行う際、スペースキーを利用しているが、入力時間を短縮するためENTERキーでの改行ができるようにしてほしい。	NACCS全体のEDI電文仕様で改行(ENTERキー)が項目間の区切り文字となっているため、項目内に改行を含むことができない。NACCS/パッケージ全体の仕様に係る事項であり、ACL業務のみの対応は困難。	×
16	ACL01	複数のACLデータは代表1件目のみに総件数を通知するようにしてほしい。	要望元にて対応不要との確認済。	×
17	ACL01	ACL01業務の重量欄について重量単位を「KG」入力する欄の入力桁数(整数部6桁)を増やしてほしい。	桁数拡大は影響大のため実施しない。	×
18	ACL01	バンニング情報登録前に仮登録したACL情報について、バンニング情報登録後に呼出しを行うと、「個数」、「荷姿」、「グロス重量」等のコンテナ情報が補充されないため、これらの情報を補充するようにしてほしい。	補充は入力が無かったときにのみ行う仕様としている。情報が入力されていた場合に当初の情報を上書きしてよいのか、システムで判断できないため対応しない。	×
19	ACL01	カスタマイズ帳票は、共通項目の部分とコンテナ情報等の部分では、テンプレートを1ページに集約することが不可。また、コンテナ情報のページにブックイング番号等のキー項目を表示することができないため、カスタマイズ帳票のテンプレートを1つにまとめてほしい。	カスタマイズ機能の改善を行い、コンテナ情報を共通情報と同じページに集約可能とする。	○
20	ACL03/04	ACL03/04業務について、荷送人、荷受人、着荷通知先、記号番号及びシール番号欄の入力項目の文字数、桁数を増やし、入力欄についても追加してほしい。また、ACL03、04では、輸出申告番号からの情報呼び出しやCY・CFS欄の通知等、ACL01、02にある機能が無くなっているため、機能を追加してほしい。	荷送人、荷受人、着荷通知先の住所・電話番号欄について70桁を追加し175桁とする。CY・CFS欄の通知機能を設ける。 輸出申告番号からの呼出しには対応しない。	○ ×
21	IAL	船積情報照会(IAL)業務の照会結果に、ACL01、02業務の送信履歴を出力してほしい。	送信履歴を5件出力する。	○
22	IAL	船積情報照会(IAL)業務による照会結果に、通知先コード1、2が表示されないため、出力してほしい。また、ACL仮登録でも照会が可能となるようにし、仮登録状態か本登録状態か、取り消し状態かを区別できるようにしてほしい。	出力情報に通知先と登録の区分を追加。	○
23	ACL01	荷送人等の名称、住所電話番号欄の改行が35桁であり、JIFFA標準では48桁(10pt)改行のため、名称欄のずれが生じてしまう。改行桁数について検討を行ってほしい。	EDIFACT電文上の制約から、35桁での改行が望ましいため対応しない。	×

参考資料. ACL関連業務プログラム変更対応可否一覧(3)

業務コード	変更要望内容	検討状況	実施可否	
24	ACL01	FAX番号(任意項目 3欄)の運用をやめてほしい。 海貨業者が船会社に直接ACL情報を海貨FAX番号を入れて送信した場合、運賃情報が本来受け取るべきNVOCC以外の社に漏れてしまうため。	運用上FAX番号の利用が欠かせないとの意見があり、項目の削除は困難。	×
25	ACL01	ACL情報を受け取る側の保税蔵置場で、通知先コードを誤って本来の搬入先でない蔵置場に送信される場合があるため、チェック機能を設けるか誤送信先が誤送信であることを知らせるような仕組みを作してほしい。誤って送信されると、実際の貨物と情報が一致していない状況が放置される状態となるため。	誤送信を通知する仕組みを新たに設けることは困難であるため対応はしない。 次期では送信後に通知先情報を確認できるよう、帳票に通知先情報を出力する。	×
26	ACL01	JETRASのライセンス取得有無がわかるような欄を設けてほしい。香港で船卸の際にライセンスの確認が必要であるが、輸出許可書には記載があるがNVOCCには分からないため危険品同様に欄を設けてほしい。	要望元にて対応不要との確認済。	×
27	ACL01	繰返部のコンテナ情報にフラットトラックコンテナのオーバーワイド、オーバーハイの欄を設けてほしい。現状欄がないため記事欄に入力している。フラットトラックが複数本のときに桁数が不足する場合があります。	ACL情報送信段階では確定値を送信しているとは限らず、船会社によっては入力を任意としている場合もある。したがって、入力欄は追加せず、記事欄の桁数を70桁追加することとする。	×
28	ACL01	禁止文字「_(アンダーバー)」を使用可能としてほしい。メールアドレスの入力を希望する荷主が近年増えており、「_」が含まれている場合アタッチする必要がある。	「_(アンダーバー)」を使用可能とするには「_」を含む属性「sn」の文字(英小文字、\$、¥等35文字)すべてを入力可能としなければならず、船会社側で対応できないとの要望があり、対応は困難。	×
29	ACL01	船舶コード(コールサイン)を入力した場合にリアルタイムで船舶名称が確認できないか。 キー項目であるため訂正が出来ず、再送信となり手間であるため。	開発規模が大きいため、対応は困難。	×
30	ACL01	繰返部に車台番号、エンジン番号以外に実務上シャーシごとのLWHが必要なので、入力欄を設けてほしい。	要望を踏まえヒアリングを行った結果、新車を扱う社においてLWHの情報を紙媒体でやり取りする運用を行っており、ACLの入力項目化に対応できないことから反対との意見があるため、対応はしない。	×
31	ACL12	数量の合計はできるが、品名と記号番号の合計が出来ず中途半端で現状使用している社がない。コンテナマニフェストのような情報にまとめられるようにしてほしい。	開発規模が大きいため、対応は困難。	×
32	ACL12	FCLの数量や品名はそのままに荷送人等情報だけMaster B/L情報に書き換えて送信できる機能を検討してほしい。FCLの貨物をNVOCCで扱う機会が増えており、ACL12で送信する機能があればよい。	開発規模が大きいため、対応は困難。	×



参考資料. ACL関連業務プログラム変更対応可否一覧(4)

業務コード	変更要望内容	検討状況	実施可否	
33	ACL	記号番号欄を20行(700桁)に拡大。 現行のACL業務では「記号番号」欄が4行(140桁)しか入力できないため、アナログ的に記号番号のみ紙に複写して、船会社、CY等にFAXしている。記号番号欄の桁数を拡大するか、添付機能を追加してほしい。	ACLの本来の目的である「B/L情報としての利用価値」という点に着目すると、アタッチシート添付可能化としてもテキスト形式に機能を限定する必要がある。 テキスト形式のみ添付可能としても、現在アタッチシートとして送信されている情報をカバーできる割合は低いと考えられること、船会社間のアタッチシート運用の分化等の問題があるため、添付機能には対応しない。	○ ×
34	ACL01	Waybill同様にSURRENDERのボタンを追加してほしい。	正式な船積書類として認められていない側面もあることから、対応はしない。	×
35	ACL	記号番号欄及び品名欄に、「SEE ATTACHED SHEET」と手入力された場合、エラーまたは注意喚起メッセージ出してほしい。	出力メッセージを「SEE ATTACHED SHEET」ではなく、別の電文が送信されることを通知する内容に変更することで対応する。 「SEE ANOTHER ACL DATA」と出力とする。	○
36	ACL	重量・容積等の不一致 Dock Receiptに当たる項目とCLPIに当たる項目で数字に相違がある場合、送信時にエラーメッセージ等を表示して欲しい。 海貨業者へ確認を行うと、タイピングエラーが主な原因です。海貨業者側もSave出来ない等の改良があれば助かるとの意見でした。このシステムチェック機能があると、海貨・船会社とも助かります。	共通部のグロス重量、容積と繰返部の各コンテナの重量、容積の合計について不一致判定を行う仕組みを設ける。 また、エラーではなく注意喚起メッセージを出力する。	○
37	ACL01	送信後の印刷でも、通知先を表示してほしい。	出力帳票に通知先を追加。	○

